

2021年9月9日

東京学芸大学 文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2021

企画開発委員会調査部会 第4回ヒアリング資料

神奈川県立愛川高等学校（全日制）

「高校における日本語指導 体制整備事業」報告

学校概要

- ▶ 全日制普通科
- ▶ 昭和58年開校
- ▶ 平成10年学校設定科目伝統文化開講（獅子舞・海底和紙）
- ▶ 平成15年学校設定科目伝統文化開講（和太鼓）
- ▶ 平成18年在県外国人等別募集開始
- ▶ 平成21年連携型中高一貫校募集開始
（学校設定教科i-Basic開講 平成26年度よりi-Unitとして継続）
- ▶ 平成28年学校運営協議会制度の導入（県内初）
- ▶ 平成30年学校設定科目伝統文化閉講
- ▶ 平成30年地域学校協働本部（明日楓会）設立

学校概要

▶ 生徒数（令和3年5月1日現在）

	1年	2年	3年	合計
男	162	98	113	373
女	78	92	85	255
計	240	190	198	628

▶ 生徒出身地割合

	1年	2年	3年	合計
愛川町	32%	31%	33%	32%
相模原市	40%	46%	42%	43%
厚木市	25%	20%	22%	22%
その他	3%	3%	3%	3%

▶ 卒業後の進路（令和3年3月）

大学進学	短大・専門学校進学	職業訓練校進学	就職	進学準備等
19%	33%	3%	31%	14%

学校概要

連携型中高一貫教育

1 連携事業

- (1) 中高生が一緒に大学等で共に学ぶ。
- (2) 高校教員が中学生対象夏期講座

2 連携カリキュラム

- (1) ドリル教材の中学校版を作製し提供 (H23)
- (2) 相互の授業見学

3 人事交流 (TTによる相互の授業支援)

- (1) 高校 (英語、数学、国語、社会、理科、保健体育 計6名) → 3中学校
- (2) 3中学校 (i-Unit他に各中学から計6名) → 高校

4 連携入試 (H22.4~)

- (1) 定員の2割(45名)を中学の推薦で選抜 (指定校推薦)
- (2) 「自己PRシート」と「面接」

学校概要

愛川高校と愛川町立 3 中学

愛川高校



愛川中学校

愛川中原中学校

愛川東中学校

学校概要

愛川高校の重点目標

(1) 身に付けさせたい力

①自己肯定感

②コミュニケーション力

(2) 育てたい生徒像

○地域に立脚し自ら未来を切り拓く人材

外国につながる生徒の指導について

1 愛川町在住の外国籍住民

約50ヶ国35言語 3,000人（愛川町人口約39,000人に占める割合 約7.5%）

2 在県外国人等特別募集

（1）定員10名

（2）在県3年未満（令和4年度入試から6年未満）

（3）国語・数学・英語・面接

3 愛川高校の外国につながる生徒（全校生徒618人に占める割合 約16.5%）

1年 37名（在県外国人特別募集 8名 ・ 一般募集 29名）

2年 38名（在県外国人特別募集 9名 ・ 一般募集 29名）

3年 27名（在県外国人特別募集 3名 ・ 一般募集 24名）

外国につながる生徒の指導について

4 国籍

(1) 在県外国人等特別募集による入学者の国籍について (20名)

ブラジル 1名・ 中国 1名・ フィリピン 8名 (うち1名は日本国籍あり) ・
ペルー 2名・ ベトナム 2名・ カンボジア 2名・ インド 1名・
スペイン 1名・ コロンビア 1名・ パキスタン 1名

(2) 一般募集による入学者の国籍について (82名)

ブラジル 9名・ フィリピン 14名 (うち4名は日本国籍あり) ・
ペルー 21名 (うち3名は日本国籍あり) ・ ベトナム 3名・ カンボジア 4名・
インド 1名・ スペイン 1名・ コロンビア 1名・
パキスタン 1名 (うち1名は日本国籍あり) ・ ドミニカ共和国 5名・
タイ 1名 ・ ラオス 5名・ ルーマニア 1名・ スリランカ 1名・
イラン2名 (うち1名は日本国籍あり) ・ 不明12名

外国につながる生徒の指導について

5 プレイメントテスト

- (1) 日本語能力の把握（入学時）
- (2) 取り出し授業該当者の把握

6 授業形態

(1) 学年の実態に応じ取り出し授業

- 1年 国語総合、地理A、現代社会、数学Ⅰ、数学A、化学基礎、保健、コミュニケーション英語Ⅰ、社会と情報（21単位）
- 2年 現代文B、世界史A、日本史A、数学研究 α 、生物基礎、地学基礎、保健、家庭総合（17単位）
- 3年 現代文B、世界史B、政治・経済、家庭総合（11単位）

(2) 日本語指導

- ①学校設定科目（基礎日本語Ⅰ（3単位）、Ⅱ（2単位）、Ⅲ（3単位））

日本語指導担当教員（非常勤）と国語科教員によるチームティーチング授業

- ②取り出し授業（1年国語総合 2年現代文B 3年現代文B）

国語科教員による授業

外国につながる生徒の指導について

7 日本語能力検定試験（7月・12月）

目標：3年までにN3取得

対象：取り出し授業該当生徒希望者

現状：3年N3 3名取得（12月にN2受検）・2年N2 1名

8 進路（令和3年3月卒業生 7名）

大学進学	短大・専門学校 進学	職業訓練校 進学	就職	進学準備等
1人	1人	1人	3人	1人

※進学準備等の1人は卒業後就職（運送業）

外国につながる生徒の指導について

9 日常的な支援

(1) ルビ振り

配付物、試験問題等

(2) 相談全般（進路・生活・家族・日本語等）

昼休み・放課後・定期テスト前・長期休業中

(3) 多文化教育コーディネーター（タガログ）の配置

通訳手配

支援員（ペルー）との調整

翻訳（タガログ・ペルー）

外国につながる生徒の指導について

10 活躍の場所づくり

【実績】

- (1) 地域貢献（愛川町役場への協力）
新型コロナ感染症ワクチン接種周知
- (2) 地域の中学校へ出前授業（自国についてプレゼン）

【計画】

- (1) 大学との連携（桜美林大学）
高大連携協定締結済
- (2) 総合的な探究の時間における発表
- (3) 外国につながる生徒による母国語教室
- (4) 文化祭における自国文化の発表（自国文化展示、自国料理等）

外国につながる生徒の指導について

11 授業風景

- ▶ ここに動画（4分程度）が入ります。

外国につながる生徒の指導について

12 今後の課題

- 取り出し授業を継続していくための教員の配置（加配）
- 日本語指導担当教員の増員